

近畿雑草研究会ニュースレター No.31

近畿雑草研究会

ご挨拶

代表 大橋 善之

新型コロナウイルス感染症は、次々と変異を繰り返し、未だに収束する気配がありません。また、ロシアのウクライナへの侵略や中国の台湾に対する軍事圧力等により、世界情勢はますます不安定な状況になっています。一方、私事ではありますが、本年5月に中丹東農業改良普及センターから農林水産技術センター農林センター所長に異動となりました。本研究会の皆さまには、当センターの研究員に対して雑草研究のご指導や共同研究等をお願いしたいと思っております。

そのような状況の中で本研究会の代表として2年目を迎えることとなりました。昨年は、下野幹事のお世話によりGIS講習会を開催させて頂きました。このような手法は必要となってくることから、大変有意義な講習会であったと思っています。しかし、本講習会以外では、コロナ禍の影響により、十分な活動ができなかったと反省しております。本年こそ、研究発表会や勉強会、見学会等も行いたいと思っていますので、会員の皆さまには積極的なご参加をお願いします。では、皆さまと雑草を通じた議論や交流ができることを楽しみにしております。

1. 活動報告

(1) GIS講習会

2021年11月28日(日)に京都大学農学生命科学研究棟1Fセミナー室にてにおいて、GIS (Geographic Information System: 地理情報システム) の基本的な使い方を覚えることを目的に、初心者を対象としたGIS講習会を開催した。講師には農業環境技術研究所主任研究員の岩崎亘典氏をお迎えした。岩崎氏は過去100年以上にわたる農業環境の空間構造の変化をGISを用いて比較する研究に携わり、QGIS (フリーでオープンソースのGISソフト) の普及活動にも積極的に関わっている方である。アシスタントとして長瀬興氏 (GeoRepublic) にも参加していただき、総勢9名の参加者とともに、自身のパソコンにQGISをインストールし、QGISを操作しながら使い方を覚える実習形式の勉強会を午前10時から午後5時にわたっておこなった。

まずGISにおける基本知識(測地系と座標系、ラスタ形式とベクタ形式データなど)を学び、国土地理院が公開している「基盤地図情報」と環境省が提供している「自然環境保全基礎調査植生調査情報」を重ね合わせた地図を作成し、任意の調査地点を表示させ、調査地点の周囲の環境情報を抽出するといった操作をおこなった。

(2) 総会

QGIS 講習会への会員の参加が少なかったため、この講習会に合わせて総会を開催することをやめ、2022年1月26日(水)にメールによる書面での総会を開催した。講習会への会員の参加人数が少なく、また予算にも余裕があることから、昨年に引き続き今年度も会費を徴収しないことを総会決議した。

2. 会計報告等

近畿雑草研究会総会において承認された2020年度の収支決算報告・会計監査報告ならびに2021年度の予算案を以下に転載します。

(1) 2020年度収支決算報告

(会計年度：2020年4月1日
～2021年3月31日)

収入の部	
科目	金額(円)
前年度繰越金	163,887
会費	7,000
利子	0
合計	170,887

支出の部	
科目	金額(円)
振込口座解約手数料	110
合計	110

差引残高 170,777 円。
残金は次年度に繰り越します。
上記の通り、相違ありません。

2022年1月12日
庶務・会計幹事

岩上哲史 ㊞

(2) 2020年度会計監査報告

2020年度の近畿雑草研究会の会計に関し、会計帳簿、証拠書類(領収書、会費受付記録等)および預金通帳を検査照合した結果、収支とも適正に執行され、決算書に適正に表示されていることを認めます。

2022年1月24日

会計監査 大橋善之 ㊞

会計監査 中山祐一郎 ㊞

(3) 2021年度予算案

(会計年度：2021年4月1日
～2022年3月31日)

収入の部	
科目	金額(円)
前年度繰越金	170,777
勉強会参加費	3,000
本学会助成金	0
合計	173,777

支出の部	
科目	金額(円)
講演会講師旅費・謝金	12,000
事務・通信費	0
予備費	161,777
合計	173,777

以上

発行 近畿雑草研究会

代表 大橋 善之

(京都府農林水産技術センター農林センター)

庶務・会計幹事 下野 嘉子(京都大学農学部)

E-mail : shimono.yoshiko.7s@kyoto-u.ac.jp

事務局 京都大学大学院農学研究科

雑草学分野

〒606-8502

京都市左京区北白川追分町